

○教育研究組織の内容

【学士課程】

学群	学 類	コース名
人文 社会 学群	人間発達文化学類	教育実践コース 心理学・幼児教育コース 特別支援・生活科学コース 芸術・表現コース 人文科学コース 数理自然科学コース スポーツ健康科学コース
	行政政策学類 (昼間・夜間主)	地域政策と法コース 地域社会と文化コース
	経済経営学類	経済学コース 経営学コース
	夜間主コース	現代教養コース ※平成31年度1年次生募集停止
理工 学群	共生システム理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース
農学 群	食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース

【大学院】

<2023年度以降の入学者>

大 学 院	専 攻 名	各コース・各領域等
地域デザイン科学研究科	人間文化専攻	言語文化コース
		地域文化コース
		スポーツ・芸術文化コース
		人間発達心 理コース
	地域政策科学専攻	法・政策コース
		コミュニティ探究コース
	経済経営専攻	経済学コース
		経営学コース

共生システム理工学研究科	共生システム理工学専攻 (博士前期課程)	数理・情報システムコース 物理・メカトロニクスコース 物質・エネルギー科学コース 生命・環境コース
	環境放射能学専攻 (博士前期課程)	環境放射能学コース
	共生システム理工学専攻 (博士後期課程)	共生数理システム領域 共生環境システム領域
	環境放射能学専攻 (博士後期課程)	環境放射能領域
食農科学研究科	食農科学専攻	食品科学コース
		農業生産科学コース
		生産環境科学コース
		農業経営科学コース
教職実践研究科	教職高度化専攻	ミドル・リーダー養成コース
		授業デザインコース
		特別支援教育コース

<2022年度以前の入学者>

大 学 院	専 攻 名	各領域・各コース等
人間発達文化研究科	教職実践専攻	ミドル・リーダー養成コース 教育実践高度化コース 特別支援教育高度化コース
	地域文化創造専攻	人間発達支援領域 日英言語文化領域 地域生活文化領域 数理科学領域 スポーツ健康科学領域 芸術文化領域
	学校臨床心理専攻	臨床心理領域 学校福祉臨床領域（募集停止）
地域政策科学研究科	地域政策科学専攻	地方行政分野 社会経済法分野 行政基礎法分野 社会計画分野 地域文化分野
経済学研究科	経済学専攻	
	経営学専攻	
共生システム理工学研究科	共生システム理工学専攻 (博士前期課程)	数理・情報システム分野 物理・メカトロニクス分野 物質・エネルギー科学分野 生命・環境分野
	環境放射能学専攻 (博士前期課程)	生態学分野 モデリング分野 計測分野
	共生システム理工学専攻 (博士後期課程)	共生数理システム領域 共生環境システム領域
	環境放射能学専攻（博士後期課程）	環境放射能領域

【学系（8の研究組織）】

学 系	研 究 内 容
教育学系	人間の存在と社会ならびにそれらの発達を、教育との関係において、多面的・多角的、統合的に理解することを目的に研究を行っている。教育の現象を論じる本学系ならではの特徴である、多様なテーマと観点のもと、諸問題に理論的かつ実践的にアプローチし、体系的な知の創造に向けた模索と挑戦を重ねている。
地域文化・言語学系	日本、アジア、世界の諸地域の社会、思想、歴史、文化、文学、芸術、言語を対象とした基礎的研究・応用的研究を推進するとともに、領域を超えた研究の連携や地域との協働的活動を通して、人間や社会の諸相について様々な視点から探究する。
健康・運動・心理学系	健康・運動・心理学系に所属する教員は、体育、スポーツ、健康科学、心理学、医学等を専門とし、人と社会の身体的・心理的健康に寄与する研究と実践を行っている。
法・行政・社会学系	政策や行政の制度の実態を踏まえ、法・政治・行政学的視点で、社会的・経済的諸問題を研究している。また、社会の構造及び地域社会の問題を踏まえ、政策化・社会計画化する視点で、地域の諸課題を研究している。そして、学系領域相互の有機的関連も視野に入れた研究を進めている。
経済・経営学系	経済・経営学系には大別して経済学・経営学・会計学の3つの研究分野がある。各分野では、基礎理論の発展に資する研究が積み重ねられるとともに、地域社会や企業等の抱える上記分野に関連する課題の解決に向けた研究も進められている。
自然科学・情報学系	自然科学・情報学系は、数学・物理学・化学・環境科学・情報科学分野を研究領域とする教員から構成されている。自然の真理を探究するとともに、環境保全や情報化社会などへの貢献も目指しながら研究している。
応用理工学系	科学技術を社会に活かす目的を持って、研究を行っている。取り扱うテーマは多岐にわたり、学問分野横断的なテーマも数多くある。共同研究など、産学連携活動が盛んなことも特徴である。
生物・農学系	多様な生物と地域環境をめぐる自然科学に取り組むとともに、農林水産業や食品産業を牽引する新時代の農学を展開する。放射能に関する研究や社会科学の研究とともに、福島ならではの持続可能な社会の創造に貢献する。

【学内施設等】

教育研究施設	設 置 目 的
附属図書館	附属図書館は、学術情報基盤として、資料の収集・充実に努め、快適な利用環境を整備し、本学学生の自律的学習支援及び教職員の教育研究活動支援を行うとともに、開かれた大学図書館として、地域の生涯学習活動を支援することを目的とする。
情報基盤センター	センターは、福島大学における教育、研究及び運営等の諸活動を円滑に遂行するための基盤となるネットワークシステム及び情報セキュリティ対策の整備運用を行い、諸活動における情報化及びそれらの最適化を推進、支援することを目的とする。
地域未来デザインセンター	センターは、地域と連携した教育及び研究を支援し、地域の課題解決やイノベーション創出に貢献するとともに、新しい地域社会の在り方を提案し、地域創生に寄与することを目的とする。
保健管理センター	センターは、福島大学の学生及び職員の健康の保持増進を図るため、保健管理に関する専門的業務を行う。
国際交流センター	センターは、海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、留学生教育の企画立案及び教育研究面での国際交流を図ることを目的とする。
環境放射能研究所	研究所は、国内外の研究機関と連携し、温帯多雨地域における放射性物質による環境への長期的な影響の調査・研究を行い、環境放射能動態について解明することを目的とする。
人間発達文化学類附属学校臨床支援センター	教育相談部門・現職研修部門から成る。前者は心理職・教員等の支援技術向上を支援するとともに、臨床心理・教育相談室を併設して地域への相談サービスを提供する。後者は、福島県教育庁、市町村教育委員会、各学校の研修支援、教員の授業づくり支援等を行う。2部門ともに、附属学校園を含む学校の教育・研究支援を行っている。
共生システム理工学類 附属水素エネルギー総合研究所	本研究所は、水素及び再生可能エネルギーに関する研究並びに教育を行うため、水素・再生可能エネルギーの地産地消モデルの創出及びカーボンニュートラルの実現に貢献するとともに、研究所の成果を学生教育に還元し、水素及び再生可能エネルギー関連産業に携わる高度専門人材の育成を目的とする。
食農学類附属発酵醸造研究所	研究所は、発酵醸造に関する総合的な基盤研究と地域の課題を解決する橋渡し研究を推進し、これを国際的な課題や地球規模の課題の解決にも貢献する学際的先端研究として発展させることを目的とする。